

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

地上業務委員会（第 44 回） 議事概要（案）

1 日 時 平成 29 年 9 月 6 日（水） 14:00～15:30

2 場 所 合同庁舎 2 号館 総務省 11 階 第 3 特別会議室

3 出 席 者（敬称略、順不同）

[委員・専門委員]

三瓶 政一（主査）、小川 博世（主査代理）、足立 朋子、飯塚 留美、上村 治、
川口 さち子、小泉 善子、阪田 史郎、佐藤 孝平、田北 順二、橋本 明、
松永 彰

[関係者]

新（NTT ドコモ）、今田（KDDI）、石川（日立製作所）、坂本（NTT ドコモ）、菅
田（KDDI）、本多（エリクソン・ジャパン）

[事務局]

（移動通信課新世代移動通信システム推進室）中里、川崎（大）、村井、小橋

4 配 付 資 料

資料地-44-1	地上業務委員会（第 43 回）議事要旨（案）
資料地-44-2	ITU-R SG5 TG5/1 第 2 回会合報告書（案）
資料地-44-3	ITU-R SG5 WP5D 第 27 回会合報告書（案）
資料地-44-4	ITU-R SG5 TG5/1 第 3 回及び WP5D 第 28 回会合への日本寄与文書（案）
資料地-44-5	ITU-R SG5 TG5/1 第 3 回及び WP5D 第 28 回会合への対処方針（案）
参考資料 1	ITU-R SG5 TG5/1 第 3 回会合の開催案内
参考資料 2	ITU-R SG5 WP5D 第 28 回会合の開催案内
参考資料 3	ITU-R SG5 TG5/1 第 3 回及び WP5D 第 28 回会合の日本代表団一覧
参考資料 4	地上業務委員会構成員名簿
参考資料 5	IMT-2020 Workshop における評価グループ紹介について

5 議 事 概 要

(1) 地上業務委員会（第43回）議事要旨について

【資料地-44-1】

地上業務委員会（第43回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

(2) ITU-R SG5 TG5/1 第2回及びWP5D 第27回会合等の報告について

【資料地-44-2,3】

事務局から、ITU-R SG5 TG5/1 第2回及びWP5D 第27回会合について報告があった。

(3) ITU-R SG5 TG5/1 第3回及びWP5D 第28回会合への日本寄与文書案について

【資料地-44-4-1】

KDDI 今田氏から、「固定衛星業務(地球から宇宙)と 24.25-27.5 GHz 帯で運用される IMT システムとのさらなる共用検討」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 “fixed satellite service” について、業務には “the” が必要である。“FSS” のような略語はどちらでもよい。

三 瓶 主 査 アジア大陸地域だと沿岸に利用が集中する、というような地域性を考慮しなくてよいのか。

今 田 氏 局所的な検討は、地上間の干渉検討の際に必要となる。今回は衛星と地上の干渉検討であるため、一様分布を前提に検討しても問題ないと考えている。

【資料地-44-4-2】

KDDI 菅田氏から、「レポート草案 M.[IMT.EXPERIENCES]のドラフト作業の進め方とタイトル名の改訂提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 “name of the title” という記載については “title” だけでよい。
“1.Introduction”について、“more general” に変更するということであれば、動詞の “keep” を “change” 等に変えた方がよい。
“2.Discussion”について、“IMT system” は複数形にした方がよい。

三 瓶 主 査 周波数帯を明確化したいという主張はあったのか。

菅 田 氏 欧州の放送業界に、IMTの周波数を用いたいという意向があり、主に放送用周波数が考えられていた。その際に、低い周波数帯だけでなくよいという意見がロシア等からでてきたため、周波数を記載した。

三 瓶 主 査 ある地域が新たにIMTを用いるのではなく、あるシステムが新たにIMTを用いるというシナリオを想定しているのであれば、そうである

ことを明確化すべき。

【資料地-44-4-3】

KDDI 菅田氏から、「新報告草案 M.[IMT.MTC]へ向けた作業文書の改訂提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 “2.Discusiion” について、3パラグラフ目から時制が変わっているの
で、現在形に統一するとよいだろう。

また、“with taking account” の “with” は不要。

三瓶主査 MTC用に700MHz帯における3MHz×2バンドを用いるという意見
と、3GPPにおける議論の内容は整合しているのか。

菅田氏 現時点では、入力寄書を元にあくまでも例示として記載されている。
発展途上国としては、広いエリアをカバーするために、低い周波数の
調和を図りたいという意向があるようだ。

【資料地-44-4-4】

日立製作所 石川氏から、「SWG-EVALUATION の今後の作業に関する提案」
について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 2つの文書に対する作業計画の提案をまとめて行うことは可能なの
か。

石川氏 前回会合で韓国が2件の作業計画をまとめて提案した。その修正提
案であるため、まとめて行う。

【資料地-44-4-5】

エリクソン・ジャパン 本多氏から、「IMT-2020 入力サマリー（受領）テンプ
レートの提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-44-4-6】

NTT ドコモ 新氏から、「勧告改訂草案 M.1036-5 に向けた作業文書への修正提
案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 “introductory and preamble parts” という記載について、どの部分を
意味するのか。

新氏 本寄書では修正提案をしていないため記載がないが、“considering”
や “recognize” といった箇所を意味している。

三瓶主査 それらは修正を予定されているのか。

新氏 予定されている。

【資料地-44-4-7】

NTT ドコモ 新氏から、「WRC-19 議題 9.1、Issue 9.1.2 の CPM テキスト草案
に向けた作業文書への修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承

認された。

橋本構成員 削除されている BO.955-3 を CPM テキスト案に記載していることについてどのように考えているか。

新 氏 本来は WP4A で議論されるべき内容だと思うが、WP5D においても、削除できないか議論したい。

橋本構成員 M.1036 については、提案しなくてよいのか。

新 氏 現在改訂作業中であり、本文中でも説明があるため、現時点では提案に含めていない。

【資料地-44-4-8】

NTT ドコモ 坂本氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT&BSS COMPATIBILITY] に向けた作業文書への修正提案」について説明があり、特段のコメントなく承認された。

【資料地-44-4-9】

NTT ドコモ 坂本氏から、「新勧告草案／報告草案 ITU-R M.[MSS&IMT-ADVANCED SHARING] に向けた作業文書への修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 通信規格は何か

坂本氏 IMT-Advanced である。

三瓶主査 信号帯域は選択できるようになっているのか。

新 氏 受信機への受信強度のみを検討している。実際に、ITU での共用検討では、信号の波形まで考慮されていない。

三瓶主査 衛星に IMT-Advanced の通信規格を用いるのか。

新 氏 衛星用と携帯電話用の両方が検討されており、例えば、中国が衛星用 IMT-Advanced を用いるという話を聞いている。

【資料地-44-4-10】

NTT ドコモ 新氏から、「24.25-86 GHz における IMT-2020 システムの周波数需要及び技術運用のパラメータ及び展開特性に関する資料の取り扱い」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 前会期は、パラメータ及び周波数需要のレポートを入力した。今回、入力しない理由は、内容が有益ではないからか。

新 氏 周波数需要は議論を呼ぶ案件であり、様々な考え方がある。無用な議論を引き起こさないためにも、現状のままで良いと考えている。

三瓶主査 従来、周波数逼迫を根拠に IMT への割当てが進んできたが、ミリ波帯には潤沢な周波数があり、逼迫するとは思えない。逼迫と需要は別の議論になるタイミングにさしかかっているのではないか。

新 氏 トラヒックの増大だけではなく、ミリ波帯を用いた新たなアプリケ

ーションが出現してくることを理由として、IMTへの追加特定を説明している。割当ては主管庁の思惑によるところも多く、最終的には、既存システムと共用できるかどうかによって決定されるだろう。

【資料地-44-4-11】

日立製作所 石川氏から、「IMT-2020 関連文書 (IMT-2020 document)の追加に関する提案」について説明があり、特段のコメントなく承認された。

(4) ITU-R SG5 TG5/1 第3回及びWP5D 第28回会合への対処方針案について

【資料地-44-5】

事務局から、ITU-R SG5 TG5/1 第3回及びWP5D 第28回会合への対処方針案について説明が行われ、承認された。

(5) その他

事務局より参考資料の説明があった。

本日の審議を経て、修正の必要がある寄与文書については、近日中に事務局に提出することになった。

また、承認された寄与文書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

外国寄与文書の対応については、日本代表団を中心に外国寄与文書審議表を作成し、対処に用いることとする旨説明があり、承認された。

以上